

研究課題名：	心不全患者に実施した質問紙からみた ACP の現状と課題について
所属（診療科等）：	公立昭和病院（循環器内科）
研究責任者（職名）：	岡田 健助
試料・情報の提供責任者： 試料・情報の管理責任者：	公立昭和病院 院長 坂本 哲也
研究期間：	2025 年 5 月 1 日～2027 年 3 月 31 日
研究目的と意義：	<p>高齢社会の進行に伴い心不全患者は激増している。心不全治療の進歩も進み、薬物療法・非薬物療法ともに選択肢が増え、実施できる治療が増えている。こうした時代の中、全ての治療を全患者に適応する時代から、Advance Care Planning（以下 ACP）により患者自身の治療意向を聞き取り、実際にどう治療を選択していくかという Shared Decision Making（以下 SDM）の重要性が増している。</p> <p>ACP の取り組みは定まったものがなく、予後予測が難しい心不全ではそのタイミングや方法、共有など課題が多く、このことも ACP の有効性に疑問がつくひとつの問題点である。当院で行っている ACP の取り組みとしての心づもりシートについて、その記載内容から患者の治療意向などの傾向をつかむとともに、その使用感を明らかにし、今後の ACP の取り組みの改善に取り組むために本研究を実施する</p>
研究内容：	<p>●対象となる患者さん 公立昭和病院循環器内科へ入院あるいは外来通院されている心不全患者で心づもりシートの記載を行った方</p>
研究内容：	<p>●利用するカルテ情報 本研究は患者様の年齢、性別、入院日、入院期間、心づもりシートの記入日、心不全入院回数、心不全原疾患、入院期間、併存症、EF、BNP、同居人の有無、主介護者、利用している保険、介護保険の申請状況、介護保険サービスの利用状況、内服薬、デバイス挿入の有無・種類、看護師記録、医師記録</p>
研究内容：	<p>●研究方法 2020 年 1 月 1 日以降に収集した心づもりシートの各項目の記載状況を調査し、原疾患や ADL などからその記載内容に傾向があるかについて検討する。実際に心づもりシートの記載を行っている看護師にアンケートおよびインタビュー調査を行い、使用感や困難感について調査を行う</p>
問い合わせ先：	<p>●利用する研究機関の範囲 公立昭和病院</p>
	<p>【研究担当者】 氏名：岡田 健助（循環器内科） 住所：小平市花小金井 8 丁目 1 番 1 号 電話：042（461）0052（代表） FAX：042（464）7912 【ご意見・相談窓口】（研究・診療内容に関するものは除く） 総務課 042（461）0052 内線 2247 受付時間：月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）</p>